

I-1. 群馬県南西部，新潟県中越地方および 福島県南会津地方における豆類および 雑穀類の収集，生物研，1987年

農業生物資源研究所 遺伝資源第一部 植物探索導入研究チーム

岡 三 徳，長 峰 司
河 瀬 真 琴，江 川 宜 伸
勝 田 真 澄，中川原 捷 洋
山 下 道 弘（京都府農総研）
池 主 俊 昭（新潟県農試）
佐々木 行 雄（新潟県農試）
飯 塚 清（館林市農協）

1. 目的

安定した生産力を示し，遺伝的多様性を有する作物在来種は，農業生産の乏しかった時代以来今日まで，一貫してその重要性が確認されてきた。各地域の環境に適応して生じた在来品種は，今日では農村社会の変容，さらには農業生産様式の画一化に伴って急速に失われつつある。これらの在来品種を含む広範囲な植物遺伝資源を収集・保存することは，遺伝的多様性の消失を回避する上で緊急な課題である。今年度の調査は，群馬県南西部，新潟県中越地方および福島県南会津地方の三地域を対象に，在来品種の分布およびその特性について聞き取り調査し，同時に収集・保存を図ることを目的として実施した。

2. 経過

当研究チームは，1984年以来，茨城・福島両県を対象に豆類，雑穀類をはじめ広範囲な遺伝資源の探索・収集を継続している。その成果としてアワ，ダイズ，アズキ等の在来品種の収集に成果を挙げてきた。今年度は，さらに調査地域を拡げ，新潟，群馬両県を対象として加え，その予備調査を開始することとした。対象地域は，群馬県南西部，新潟県中越地方および福島県南会津地方の山間地域である。各農家の栽培している作物，継続して保存・利用してきた在来品種および過去に栽培した雑穀等の作物について聞き取り調査を実施し，併せて保存種子の分譲を受けた。

探索収集は，第1回目が10月20日から22日（群馬県南西部），第2回目が10月25日から27日（新潟県中越地方），さらに第3回目が11月4日から6日（福島県南会津地方）と3回に分けて延べ9日間実施した（表1）。群馬県では長峰，勝田，館林市農協・飯塚清，新潟県では中川原，京都府農総研・山下道弘，新潟県農試・池主俊昭，佐々木行雄および福島県では岡，江川が中心となり，農業生物資源研究所業務科 野堀隆弘，吉田次男，伊東義弘技官の協力を得て調査した。

3. 収集成果

今年度の3回目の探索調査で、表2に示したように合計171点を収集した。収集品は豆類が最も多く116点、次いで雑穀類37点、油料作物11点、その他7点であった。作物別には、豆類ではアズキ (*Vigna angularis*) 32点、インゲンマメ (*Phaseolus vulgaris*) 23点、ダイズ (*Glycine max*) 51点、雑穀ではキビ (*Panicum miliaceum*) 9点、トウモロコシ (*Zea mays*) 7点、アワ (*Setaria italica*) 10点、そして油料作物のエゴマ (*Perilla frutescens*) 8点^が、収集点数の多い作物であった。昨年の茨城県北部および福島県南部での探索収集成果と異なる点は、イネの在来品種およびアワ、ヒエ、ハトムギなど雑穀類を収集できたことである。今年度の成果の特徴は、全般に雑穀類の収集点数が多いことである。とくに、群馬県南西部から21点および福島県会津地方から13点収集できたことが注目される。以下、各探索地域別に、収集作物および聞き取り調査から得た情報について述べる。

1) 群馬県南西部における探索収集

調査の対象となった群馬県南西部(多野郡馬場町、上野村、中里村)は、奥秩父の埼玉県との県境に位置する急峻な丘陵地で、神流川(じんりゅうがわ)を挟んだ急傾斜地区である(図1)。標高は300から680mにわたり、山間地には小さな集落が点在している。土質は上野村では黒ボク土壌、その他の地区の畑は礫質土壌で排水は良く、全て傾斜地を利用した狭い段々畑である。この地方は養蚕を主体としてきた農村地域であり、畑作は自家用生産が中心となっている。したがって、多種の畑作物が、狭い傾斜地で栽培されている場合が多かった。

大豆15点、雑豆30点、雑穀21点、その他12点の計78点を収集した。とくに、この地域では自家用として利用・保存されてきたアワ、ヒエ、キビ、トウモロコシ等の雑穀類を、数多く収集した。近年、こうした雑穀類が急減しているにもかかわらず、現在もなお、貴重な遺伝資源が継代・保存されていることが注目された。

上野村で調査した農家では、現在も健康食としてキビ、アワ等の雑穀類を栽培しており、同村でシコクビエの種子の分譲も受けた。シコクビエは、「コウボウビエ」と呼ばれ、粉にして「そばがき」と同じように利用されている。キビは「きみ」、「ぎみ」と呼ばれ、黒キビが中心であるが一部に白キビも残されており、アワと同様に餅として食べられている。アワ・キビは、上野村以外の地域においても栽培している農家が多くみられた。トウモロコシは、「甲州もろこし」などとも呼ばれ、草丈200cm程のフリント種の栽培が、収集地域の数ヶ所でみられた。

大豆は、どの農家も目的に応じて数種の在来種を栽培しており、ヒタシマメ、クロマメの他に、みそ用として多様な在来種を保存している。とくに、中里村で入手した品種「アオバタ」は、みそ、豆腐用に最適であるとされていたが、他の地域ではその栽培は絶えていた。

小豆では、種皮色の赤い「ダイナゴン」と呼ばれる在来種が広く分布していた。これには粒大や種皮の光沢の有無に関して変異があった。上野村・馬場町・中里村では、シロアズキやオカメアズキなど種皮色が、白や斑入りの在来種が栽培されている。シロアズキは、日当りの悪い傾斜地でも栽培可能で、しかも煮上がりが早い特徴を備えているため、自家用として栽培が続けられてきている。このシロアズキは、煮上がると赤みがかった餡ができるということである。インゲンマメについては粒大・

粒形・粒色に大きな変異がみられた。

エゴマの栽培は、ゴマよりも一般的で、白粒・黒粒ともみられた。当地域では「エゴマ」または「エクス」と呼ばれている。煎ったものを摺りつぶして、だしと味噌で味付けし、汁（ひやしる）にして、そばのつけ汁、和えものに利用している。

以上のように、群馬県南西部は畑作物の栽培が小規模であるにもかかわらず、遺伝的に多様な在来品種が豊富であった。さらに雑穀の栽培が今なお残っている点では貴重な地域であると言える。

2) 新潟県中越地方における探索収集

この地方での探索収集は、長岡市を停泊地として、信濃川とその支流、越後川流域に位置する古志郡山古志村（やまこしむら）、北魚沼郡守門村（すもんむら）、広神村（ひろがみむら）、小出町（こいでまち）において実施した（図1）。この地域は、長岡市の標高20mを除くと、福島県西南部に隣接する標高180-420mの中山間地帯で、名高い豪雪地帯である。

調査時期が各種夏作物の収穫直後であったため、この土地特有の湿気を避けて農家の軒下に縄干した在来種の種子を見ながら、収集・聞き取り調査を行なうことができた（巻頭写真参照）。主要作物は水稻であるが、各農家で自給用として多種の豆類・雑穀が栽培されている。豆類が収集総数50点のうち43点と多く、その他に水稻3点、アワ、ソバ、ハトムギ各1点を収集した。豆類の収集点数の内訳は、ダイズ22点、アズキ10点、ラッカセイ5点、インゲンマメ4点、ツルマメ（ダイズの野生種）2点である。

ダイズの子葉は青緑色の「ヒトリムスメ」、黄色の「ギンナンマメ」と呼ばれる在来種が広く分布している。クロダイズには、粒の大・小、光沢の有無、粒形・球形・偏楕円形・偏平など種々のタイプのものがみられた。その用途は主として枝豆や正月用の煮豆である。アズキも自家用として広く栽培されており、早晩生や莢色（白黒）に変異が認められた。いずれも赤飯、餡として利用されている。また、守門村では「ウスゴロモ」と呼ばれるねずみ斑の品種（種皮は灰色で黒斑がある）が、60年間にわたって継代保存されていた。

水稻では、「クロモチ」3点を収集した。これらは耐冷性強の水口用品種として栽培され、また藁をしめ縄用としても利用する。種芋原（たねすはら）地区では、「ウメサブロウ」と呼称していた。本地域は河川沿いの稲作を中心とする地域であるためか、雑穀の種類は少なく、収集点数は3点であった。

本地域は、主として豆類の自家用種子が大切に保存されている地域であることがわかった。今後も各種豆類の在来種の収集のために県南部山間畑地帯を含めて、さらに調査を継続する必要性を認めた。

3) 福島県南会津地方における探索収集

この地域での探索収集は、郡山盆地の東の山手、天栄村（てんえいむら）を始めとし、会津若松市の南部、下郷町（しもごうまち）、田島町を経由して、さらに、新潟、群馬両県との境に位置する松枝岐村（ひのえまたむら）にいたる山間地で実施した（図1）。松枝岐村を除く地域は、山間の平地での稲作と傾斜地を利用した畑作を中心とした農村地帯である。標高1100mに位置する松枝岐村は、

戸数280、人口600人の過疎地である。ここでは、出作り方式を現在まで留めた畑作中心の土地で、今日まで稲作の歴史がないところである。いずれも過去には、養蚕が盛んに行なわれた地域で、そのなごりを蚕屋に残している。

この地域での探索調査を通して、アズキ7点、インゲンマメ6点、ダイズ14点、アワ6点、キビ3点、モロコシ2点など、豆類、雑穀を中心に合計43点の在来品種を収集した。

最も収集点数の多かったダイズは、その呼称の種類が「クロマメ」、「ヒタシマメ(ヒヤカシマメ)」、「ナットウマメ」、「キナコマメ」などと豊富で、用途も正月用黒まめ、完熟種子を塩水でゆでるヒタシマメ、枝豆、納豆、豆腐、黄粉用と多様であった。アズキの栽培は、継代保存されてきた在来種の数が近年急減している。これは、赤色以外の品種が換金用として不向きであり、農協等を通じた市販の種子を用いることが多くなっているためである。下郷町と桧枝岐村の農家でクロアズキ3点を収集した(ただし、内1点はササゲ)。これらは、全てあん用として利用されていた。インゲンマメには、種子の形状、大きさ、種皮の色、模様等、多様な変異が認められた。さらに、作季の違い、つる性の有無、および豆あるいは莢で食用にするとといったように栽培法、伸育性、草型、用途にも多様な分化が見られた。

雑穀は、この地方で過去に栽培されていたアワ、キビ、モロコシ等が、減反の転換作として自家用に再び作られ始めたものである。その多くがモチ性のもので、米と混ぜて炊く、もち米に混ぜてつくといったように、昔の食味を懐かしんで小規模に作付されている。下郷町音金(おとがね)では多量のアワを脱穀している老婦人に会った(巻頭写真参照)。天栄村では雑穀の収集と併せて、高い耐寒性と傾斜面の痩地でも良好な生育を示す雑穀の特性を、開墾時の先駆作物として利用した頃の情報を得ることができた。こうした雑穀の種子は知人を通じて入手したもので、現在では各地域に点々と、モチを賞味するために栽培されているに過ぎなかった。この状況は、稲作のない桧枝岐村でも同様であり、雑穀を体験しない世代の増加とともに、早晩これらの作物が消失する危険性は高いと思われる。

4. 材料の今後の受渡し計画

今回、三地域から収集した作物種子のうち、ダイズ、アズキ、インゲンマメ、ササゲ、の豆類およびヒエ、アワの雑穀については、昭和63年度に生物研の実験圃場で栽培し、特性調査および増殖を行なう予定である。その他の収集品については希望があれば分譲したい。増殖種子はセンターバンクに移管する。

5. 所感

今回調査対象とした群馬県南西部、新潟県中越地方および福島県南会津地方の三地域とも、豆類、雑穀を中心とした多様な在来種が、現状ではよく保存されており、収集の成果をあげることができた。しかしながら、これらの地域においても、遺伝資源消失の危険性は高かった。農村における食生活の変化、農協等を通じた種子の入手経路の画一化、さらに、在来種の保存・維持を支えてきた人達の高齢化などが、その主要原因となっているように思われる。作物在来種の急激な減少は、近年になって国内の広範囲な地域にわたっている。この状況に対応した方策を講じるためには、広域な対象地域

を設定し、集中した探索収集を組織的に実施することが急務である。

今回の探索収集を通じて、自給性の高い在来種の継代維持に対して、婦人、とくに老婦人の果たしてきた役割が大きいことがうかがわれた。分譲種子について、入手経路、時期、さらに、それらの利用の仕方を聞き取りする毎に、多様な在来品種の維持は、食卓を豊かにし、食生活を多様にしようとする婦人達の長い努力によって支えられてきたことを知らされる。

昨年度の探索収集報告に述べたように、調査には必ずしも時間的余裕が取れず、収集品についての情報の聞き取り調査が十分でない場合が多かった。しかし訪問した農家毎に、荒地を耕した頃の苦労談を伝えてくれる老婦人や農業に関わる昔の事柄・経験を楽しそうに話してくれる老人に出会うことは、探索収集を忘れて聞き入ってしまう興味深い体験でもある。

植物遺伝資源の探索収集の実施において、対象地域、時期、さらに収集方法・体制の設定の仕方が、大きな鍵となる。今回の三地域における収集調査では、上記の三点から見れば、適切な収集地が選択され、時期的にも大きな問題はなかったと思われる。また、収集方法については、情報の記載法や収集品の整理法はともかくとして、我々の突然の訪問に際し訪問販売人と誤解されながらも、農家の人々に収集の主旨を説明し、相互に理解し合うといった素朴な方法は、直接に遺伝資源とこれに関する情報を収集する点と、さらには、収集者自身の遺伝資源に対する理解を深める点で必要なことであろう。

最後に、今回の探索収集に際し、我々を快く迎え、親切に調査にご協力いただいた農家の方々、ある時は、遠く離れた作業小屋まで案内して種子を分譲してくださった方々に心より感謝したい。

表 1. 探索行動日程表（群馬県南西部、新潟県中越地方および福島県南会津地方）

月 日	旅 程	担 当	行 動 内 容
10.20	筑波（発、車）—— 群馬県万場町（泊）	長峰、勝田、野堀、飯塚	移動、万場町の2カ所にて15点収集
21	万場町 —— 上野村 —— 中里村（泊）	〃	豆類および雑穀を中心に46点収集
22	中里村平原 —— 筑波（帰着）	〃	中里村を中心に17点収集
25	筑波（発、車）—新潟県小出町 長岡市（泊）	中川原、山下、池主、佐々木、吉田	移動、小出町にて5点収集
26	長岡市 —— 山吉志村 —— 守門村（泊）	〃	山古志村（16点）、守門村（12点）
27	守門村 —— 広神村 —— 筑波（帰着）	〃	守門村の3カ所にて17点収集
11. 4	筑波（発、車）—— 福島県天栄村（泊）	岡、江川、伊東	移動、天栄村の3カ所にて10点収集
5	天栄村 下郷町 田島町 桧枝岐村（泊）	〃	田島町の2カ所にて19点収集
6	桧枝岐村 —— 筑波（帰着）	〃	豆類および雑穀を中心に14点収集

表 2. 各地域で収集した作物種と収集点数

作物名	群馬県	新潟県	福島県	合計	作物名	群馬県	新潟県	福島県	合計
イネ	1	3	—	4	雑穀類				
豆類					キビ	6	—	3	9
アズキ	15	10	7	32	モロコシ	—	—	2	2
インゲンマメ	13	4	6	23	トウモロコシ	6	—	1	7
ダイズ	15	22	14	51	アワ	3	1	6	10
ラッカセイ	2	5	—	7	ヒエ	1	—	—	1
ササゲ	—	—	1	1	ソバ	3	1	1	5
ツルマメ	—	2	—	2	ハトムギ	1	1	—	2
(野生種)					シコクビエ	1	—	—	1
					油料作物				
					ゴマ	3	—	—	3
					エゴマ	7	—	1	8
					その他	1	1	1	3
総 合 計						78	50	43	171

表 3. 収集材料現地記録表 (群馬・新潟・福島県, 豆類・雑穀類, 1986)

収集番号	作物名	種 属 名	現 地 名 及 在 来 種 名	収集月日
870051	インゲンマメ	<i>Phaseolus vulgaris</i>	シロインゲン	62.10.20
870052	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	ダイナゴン	〃
870053	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	コマメ	〃
870054	〃	〃	ヒタシマメ	〃
870055	キ ビ	<i>Panicum miliaceum</i>	キビ (シロキビ)	〃
870056	ラ ッ カ セ イ	<i>Arachis hypogaea</i>	ラッカセイ	〃
870057	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	マメ	〃
870058	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	ダイナゴン	〃
870059	エ ゴ マ	<i>Perilla frutescens</i>	エクサ	〃
870060	キ ビ	<i>Panicum miliaceum</i>	クロキビ	〃
870061	トウモロコシ	<i>Zea mays</i>	トウモロコシ	〃
870062	〃	〃	〃	〃
870063	ホウレンソウ	<i>Spinacia oleracea</i>	ホウレンソウ	〃
870064	インゲンマメ	<i>Phaseolus vulgaris</i>	スジナシインゲン	〃
870065	〃	〃	テナシインゲン	〃
870066	〃	〃	マメ	〃
870067	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	ヒタシマメ	〃
870068	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	ダイナゴン	〃
870069	トウモロコシ	<i>Zea mays</i>	トウモロコシ	〃
870070	インゲンマメ	<i>Phaseolus vulgaris</i>	インゲン	〃
870071	エ ゴ マ	<i>Perilla frutescens</i>	エクサ	〃
870072	インゲンマメ	<i>Phaseolus vulgaris</i>	テナシインゲン	10.21
870073	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	シトトガシラ	〃
870074	ア ワ	<i>Setaria italica</i>	アワ	〃
870075	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	シロダイズ	〃
870076	シ コ ク ビ エ	<i>Eleusine coracana</i>	コウボウビエ	〃
870077	ヒ エ	<i>Echinochloa crus-galli</i>	ヒエ	〃
870078	キ ビ	<i>Panicum miliaceum</i>	キミ	〃
870079	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	クロダイズ	〃
870080	インゲンマメ	<i>Phaseolus vulgaris</i>	インゲン	〃

収 集 地 (標高m)	特 記 事 項	備 考
群馬県多野郡万場町生利 (300)	白あん, 白色球形粒, 蔓性筋無	農家種子
〃	あん, 種皮=赤	〃
〃	みそ, 豆腐,	〃
〃	ひたしまめ, 枝豆, 粒色緑 へそ黒	〃
〃	餅にいれる	〃
〃	いり豆, 種皮淡紅色	〃
〃 相森 (530)	ひたし豆, 中晩生	〃
〃	あん, 赤飯, ヤヤ大粒	〃
〃	すって芋にまぶす 種皮色白, 中粒	〃
〃	糯, 種皮色白混	〃
〃	生食, 戦前より栽培 ヤマブキ色フリント種	〃
〃	生食, 白色, 大粒フリント種	〃
〃		〃
〃	若さや生食, 煮豆, 蔓性	〃
〃	煮豆, 楕円型粒, 蔓なし	〃
〃 相原 (350)	煮豆, 球形粒, 大粒, 蔓性	〃
〃	ひたしまめ, 枝豆 葉柄紫	〃
〃	あん, へそ長い	〃
〃	草丈200cm, フリント種	〃
〃	煮豆, 蔓性, 若莢地色緑 斑入り楕円粒	〃
〃	胡麻あえ, 種皮色黒, 白濁 やや大粒	〃
上野村川和 (420)	煮豆, 蔓無し, 腎臓型種子, 他色褐色赤紫斑入り	〃
〃	あん, 早生作柄安定多収 種皮白地色赤紫斑紋	〃
〃	もち	〃
〃	みそ, 煮豆	〃
〃	粉をそばがき風に	〃
〃		〃
〃	もち	〃
〃	風邪薬, 煮豆	〃
〃	煮豆, 種皮色白, 楕円粒, 蔓性	〃

収集番号	作物名	種 属 名	現 地 名 及 在 来 種 名	収集月日
870081	インゲンマメ	<i>Phaseolus vulgaris</i>	インゲン(ナタマメ)	10.21
870082	〃	〃	〃	〃
870083	〃	〃	〃	〃
870084	〃	〃	〃	〃
870085	〃	〃	〃	〃
870086	ゴ マ	<i>Sesamum indicum</i>	クロゴマ	〃
870087	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	ヒタシマメ	〃
870088	エ ゴ マ	<i>Perilla frutescens</i>	イグサ	〃
870090	ソ バ	<i>Fagopyrum esculentum</i>	ソバ	〃
870091	トウモロコシ	<i>Zea mays</i>	トウモロコシ	〃
870092	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	ダイナゴン	〃
870093	ラ ッ カ セ イ	<i>Arachis hypogaea</i>	ラッカセイ	〃
870094	ゴ マ	<i>Sesamum indicum</i>	キンゴマ	〃
870095	インゲンマメ	<i>Phaseolus vulgaris</i>	アカインゲン	〃
870096	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	ヒタシマメ	〃
870097	〃	〃	クロマメ	〃
870098	イ ネ	<i>Oryza sativa</i>	オカボ	〃
870099	キ ビ	<i>Panicum miliaceum</i>	シロキミ	〃
870100	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	シロアズキ	〃
870101	ハ ト ム ギ	<i>Coix lacryma-jobi</i>	ハトムギ	〃
870102	エ ゴ マ	<i>Perilla frutescens</i>	エクサ	〃
870103	ア ワ	<i>Setaria italica</i>	トラノオ(シロアワ)	〃
870104	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	アズキ	〃
870105	キ ビ	<i>Panicum miliaceum</i>	クロギミ	〃
870106	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	シロアズキ	〃
870107	〃	〃	アズキ	〃
870108	エ ゴ マ	<i>Perilla frutescens</i>	イクサ	〃
870109	トウモロコシ	<i>Zea mays</i>	トウモロコシ	〃
870110	キ ビ	<i>Panicum miliaceum</i>	クロキミ	〃
870111	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	アズキ	〃

群馬県南西部・新潟県中越地方・福島県南会津地方，豆類・雑穀類，1987- 2

収 集 地 (標高 m)	特 記 事 項	備 考
群馬県多野郡上野村川和 (420)	若さや，煮豆，短楕円型 種皮褐色地赤紫斑入，蔓性	農家種子
〃	煮豆，球形種子，種皮＝黒 蔓性	〃
〃	煮豆，球形種子，種皮＝白 蔓性	〃
〃	煮豆，蔓性，楕円型種子 種皮＝褐色地赤紫斑入り	〃
〃	煮豆，種皮赤紫色，種子白	〃
〃		〃
〃	ひたしまめ，枝豆，粒色緑 へそ黒	〃
〃	よごし，種皮白色，やや大粒	〃
〃	煮豆，莢，花中心赤	〃
〃	おかゆ，粉で饅頭 40年以上栽培のフrint種	〃
〃	赤飯，あん	〃
〃	蒸してあぶる，種皮色淡紅色	〃
万場町青梨(310)		〃
〃	赤飯，煮豆，種皮色赤，北海道より導入(改良種?)	〃
〃	ひたしまめ，枝豆	〃
〃	煮豆	〃
〃		〃
〃	もち	〃
〃	あん，日陰で栽培，種皮＝白	〃
〃		〃
〃	種皮色白，やや大粒	〃
〃	糰，秩父で収穫した	〃
中里村神ヶ原字間物(570)	赤飯，あん，種皮＝赤	〃
〃	餅	〃
〃 (580)	あん，種皮色クリーム	〃
〃	あん	〃
〃	ひやしる，あえ物，種皮 やや大粒	〃
〃	粉にする，黄色フrint種	〃
〃 字上手(360)	もち	〃
〃	あん，61年産種子，やや小粒	〃

収集番号	作物名	種 属 名	現 地 名 及 在 来 種 名	収集月日
870112	エ ゴ マ	<i>Perilla frutescens</i>	イクサ	10.21
870113	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	クロマメ	〃
870114	キ ビ	<i>Panicum miliaceum</i>	キビ	10.22
870115	ア ワ	<i>Setaria italica</i>	ムコダマシ	〃
870116	ソ バ	<i>Fagopyrum esculentum</i>	ソバ	〃
870117	トウモロコシ	<i>Zea mays</i>	トウモロコシ	〃
870118	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	アズキ	〃
870119	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	クロマメ	〃
870120	〃	〃	ワセマメ	〃
870121	エ ゴ マ	<i>Perilla frutescens</i>	エクサ	〃
870122	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	シロアズキ	〃
870123	〃	〃	シロアズキ	〃
870124	〃	〃	アズキ	〃
870218	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	クロマメ	11.15
870219	〃	〃	コマメ	〃
870220	〃	〃	アオバタ	1.11
870221	ソ バ	<i>Fagopyrum esculentum</i>	ソバ	〃
870222	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	ダイナゴン	〃
870125	ツ ル マ メ	<i>Glycine soya</i>	—	10.25
870126	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	サカナマメ	〃
870127	ラ ッ カ セ イ	<i>Arachis hypogaea</i>	ボコマメ	〃
870128	〃	〃	ラッカセイ	〃
870129	ツ ル マ メ	<i>Glycine soya</i>	—	〃
870130	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	オククロザヤ	10.26
870131	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	オハナマメ	〃
870132	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	ナカテシロザヤ	〃
870133	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	ヒトリムスメ	〃
870134	〃	〃	ワセクロマメ	〃
870135	イ ネ	<i>Oryza sativa</i>	ウメサプロウ	〃
870136	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	ギンナンマメ	〃

群馬県南西部・新潟県中越地方・福島県南会津地方，豆類・雑穀類，1987- 3

収 集 地 (標高 m)	特 記 事 項	備 考
群馬県多野郡中里村字上手 (350)	ひや汁，あえ物，種皮＝白小粒	農家種子
〃	煮豆，カリントウ，古種	〃
〃 平原字八倉 (650)	もち	〃
〃	もち	〃
〃	そば	〃
〃	粉にする。黄色フリント種	〃
〃	あん，赤飯，種皮艶なし 早く煮える	〃
〃	煮豆，種皮色黒	〃
〃	みそ，豆腐，種皮色黄	〃
〃 野栗沢奥名郷 (680)	ひや汁，種皮＝白，やや大粒	〃
〃	羊羹，あん，種皮＝白	〃
〃	羊羹，種皮白赤紫斑紋	〃
〃		〃
万場町相原 (350)		〃
〃		〃
中里町神ヶ原字上手 (360)	味噌	〃
〃		〃
〃		〃
新潟県北魚沼郡小出町大字大塚	新潟県農試池主技師10.12採集	〃
古志郡長岡市中沢町1-1936 (20)	さかなめ＝肴豆らしい	〃
長岡市中沢町 1	小粒種 葉大型 葉色＝うす緑 南蒲原郡下田(シタダ)より導入	〃
長岡市福田町	60年産種子 新潟県農試 池主氏収集	〃
長岡市今朝白(ケサジロ)	ツルマメ 莢長=2.5cm 莢色=黒，著しい蔓性示す	〃
古志郡山古村種芋原 (340)	主莖長=50cm 莢色=黒褐色 (9.0cm) 6-10粒/莢	〃
〃	帯化大豆 主莖長=60cm	〃
〃	莢長=12cm 8-10粒/莢	〃
〃	主莖長=70cm 莢色=褐色，種皮色=青	〃
〃	球形 中粒 ツヤ有り 種皮色=黒	〃
〃	hull=紫赤 seed=白 水口用品種	〃
〃	褐目大粒楕円 主莖長=65cm 莢長=6.0cm 種皮色=黄色	〃

収集番号	作物名	種 属 名	現 地 名 及 在 来 種 名	収集月日
870137	ア ズ キ	<i>Glycine max</i>	ヒタシマメ	10.26
870138	〃	〃	クロバンセイ	〃
870139	イ ネ	<i>Oryza sativa</i>	ミナクチイネ	〃
870140	ラ ッ カ セ イ	<i>Arachis hypogaea</i>	ボコマメ	〃
870141	〃	〃	タネスハラボコマメ	〃
870142	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	ダイナゴン	〃
870143	ア ワ	<i>Sataria italica</i>	モチアワ	〃
870144	ソ バ	<i>Fagopyrum esculentum</i>	ソバ	〃
870145	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	アビミノリ	〃
870146	〃	〃	オクマメ	〃
870147	〃	〃	ヒトリムスメ	〃
870148	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	ナカテアズキ	〃
870149	〃	〃	ダイナゴン	〃
870150	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	クロマメ	〃
870151	〃	〃	ニオイマメ	〃
870152	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	アズキ	〃
870153	ラ ッ カ セ イ	<i>Arachis hypogaea</i>	ジマメ(地豆)	〃
870154	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	ヒトリムスメ	〃
870155	〃	〃	クロマメ	〃
870156	?	?	カライモ	〃
870157	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	サヤカオリ(莢香)	〃
870158	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	ウスゴロモ	10.27
870159	〃	〃	ダイナゴン	〃
870160	〃	〃	リヒアズキ	〃
870161	イ ン ゲ ン	<i>Phaseolus vulgaris</i>	シロインゲン	〃
870162	ハ ト ム ギ	<i>Coix lacryma-jobi</i>	ハトムギ	〃
870163	イ ン ゲ ン	<i>Phaseolus vulgaris</i>	クロインゲン	〃
870164	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	ツヤナシクロロマメ	〃
870165	〃	〃	ユキワリマメ	〃
870166	〃	〃	クロマメ	〃

群馬県南西部・新潟県中越地方・福島県南会津地方，豆類・雑穀類，1987- 4

収 集 地 (標高 m)	特 記 事 項	備 考
新潟県古志郡山古志村種芋原 (340)	緑色平豆	農家種子
〃	極大粒黒豆 タキイから購入	〃
〃 (330)	穂先色=赤紫色 ママレ短 籾 耐冷性強「コシヒカリ」より5-7日早生	〃
〃	種皮色=赤 種皮薄 小粒 70年前から継代	〃
〃 (340)	1 莢に 4 粒入ること多し	〃
〃 (330)	晩生 莢長=12cm 8-1粒/莢 5-6 年前から栽培出荷	〃
〃	戦前からの品種	〃
〃	古くから作っているという話	〃
〃	早生 短稈	〃
北魚沼郡 守門 村福山新田 (380) (<small>46人</small>)	主莖長=78cm 莢長=6.5cm 黒目 種皮色=青	〃
〃		〃
〃		〃
古志郡山古志村種芋原 (330)	莢長=12cm	〃
北魚沼郡広神村東中	莢長=6.5cm 2-3 粒/莢	〃
〃	村区より分譲してもらった 黒目	〃
北魚沼郡守門村谷内 (240)	古い品種らしい	〃
〃	皮薄い 赤色 小粒 近所から分譲された古い品種	〃
〃	褐色 大粒 他の地域の「ヒトリムスメ」とは異種	〃
〃	中粒 偏平 主莖長=85cm 莢長=4.0cm	〃
〃	キクイモ (<i>Helianthus tuberosus</i>) ではないか?	〃
長岡市長倉町 857 (20)	新潟県農業試験場 保存品種 (S 61年産種子)	〃
北魚沼郡守門村大倉 (230)	中粒 灰色に黒い斑がはいる 60年位継代	〃
〃	やや大粒	〃
〃	早生 小粒	〃
〃	莢性 40年位継代 八月豆とも呼び遅く蒔く	〃
〃		〃
北魚沼郡守門村三沢沢 (180)		〃
〃	偏楕円形 主莖長=95cm 莢長=6.5cm 50年以上継代	〃
〃	極早生	〃
〃	偏平粒	〃

収集番号	作物名	種 属 名	現 地 名 及 在 来 種 名	収集月日
870167	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	アオマメ	10.27
870168	イ ン ゲ ン	<i>Phaseolus vulgaris</i>	インゲン	〃
870169	〃	〃	〃	〃
870170	イ ネ	<i>Oryza sativa</i>	クロモチ	〃
870171	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	ニザイマメ	〃
870172	ア ズ キ	<i>Vina angularis</i>	ダイナゴン	〃
870173	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	クロマメ	〃
870174	〃	〃	アオマメ	〃
870175	〃	〃	くろまめ	11. 4
870176	モ ロ コ シ	<i>Sorghum bicolor</i>	もろこし	〃
870177	ソ バ	<i>Fagopyrum esculentum</i>	秋そば	〃
870178	ア ズ キ	<i>Vigna angularis</i>	あずき	〃
870179	インゲンマメ	<i>Phaseolus vulgaris</i>	ちんちんまめ?	〃
870180	〃	〃	すずめのたまご	〃
870181	〃	〃	不明	〃
870182	ア ワ	<i>Setaria italica</i>	あわ	〃
870183	インゲンマメ	<i>Phaseolus vulgaris</i>	すずめのたまご	〃
870184	エ ゴ マ	<i>Perilla frutescens</i>	じゅうねん	〃
870185	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	ごぞろまめ, なっとうまめ	11. 5
870186	〃	〃	ひやかしまめ	〃
870187	〃	〃	くろまめ	〃
870188	〃	〃	〃	〃
870189	〃	〃	〃	〃
870190	〃	〃	くろまめ	〃
870191	キ ビ	<i>Panicum miliaceum</i>	きみ	〃
870192	ア ワ	<i>Setaria italica</i>	あわ	〃
870193	ダ イ ズ	<i>Glycine max</i>	みそまめ	〃
870194	〃	〃	さかなまめ	〃
870195	パニバナインゲン	<i>Phaseolus coccineus</i>	はなよめささげ	〃
870196	ア ワ	<i>Setaria italica</i>	あわ	〃

群馬県南西部・新潟県中越地方・福島県南会津地方、豆類・雑穀類, 1987- 5

収 集 地 (標高 m)	特 記 事 項	備 考
新潟県北魚沼郡広神村清木 (150)	中粒	農家種子
〃	蔓性 種皮色＝黒紫 ツヤ有り	〃
〃	蔓性 種皮色＝灰色	〃
〃	芒マレ短 護穎紫 黒糯 8月に刈り、しめなわ用とする	〃
北魚沼郡広神村中子沢 (230)	偏平 大粒 種皮色＝青 小出近辺よりもらう	〃
〃	大粒	〃
〃		〃
〃		〃
福島県岩瀬郡天栄村大規 (600)	正月の煮豆用	〃
〃	だんご、米と混ぜる	〃
〃		〃
〃		〃
〃 天栄村湯本田良尾	手あり	〃
〃	手なし	〃
〃	手あり、さやでも食べる	〃
〃 天栄村湯本字下河内		〃
〃	手なし	〃
〃		〃
福島県南会津郡下郷町芦ノ原		〃
〃	えだまめ	〃
〃	正月の煮豆	〃
〃		〃
〃		〃
〃	だんご、ごはん混ぜる	〃
〃	もち	〃
〃 下郷町弥五島	みそ	〃
〃		〃
〃 下郷町大字落合築地		〃
〃 下郷町音金ながつば (780)		〃
福島県南会津郡下郷町音針みらは (780)		〃

[illegible]

群馬県南西部・新潟県中越地方・福島県南会津地方，豆類・雑穀類，1987-6

[illegible]